

2020年2月3日  
市原保健医療圏  
地域医療構想調整会議 資料

## 千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センターのご紹介

**吉村健佑** 医師・医学博士・公衆衛生学修士

千葉大学病院 次世代医療構想センター長 特任教授



**内閣・財務省**：財政規律を保ちたい  
強い要請

**厚生労働省**：社会保障費・医療費の適正化

「地方分権」・支援・進捗管理

**都道府県**：医療政策の立案・実施

「三位一体改革」など

**医療現場**：政策への対応



# 2040年を展望した医療提供体制の改革について

- 医療提供体制の改革については2025年を目指した地域医療構想の実現等に取り組んでいるが、2025年以降も少子高齢化の進展が見込まれ、さらに人口減に伴う医療人材の不足、医療従事者の働き方改革といった新たな課題への対応も必要。
- 2040年の医療提供体制の展望を見据えた対応を整理し、地域医療構想の実現等だけでなく、医師・医療従事者の働き方改革の推進、実効性のある医師偏在対策の着実な推進が必要。

## 2040年を展望した2025年までに着手すべきこと

### 地域医療構想の実現等



- ①全ての公立・公的医療機関等における具体的な対応方針の合意形成
- ②合意形成された具体的な対応方針の検証と地域医療構想の実現に向けた更なる対策
- ③かかりつけ医が役割を發揮できるための医療情報ネットワークの構築や適切なオンライン診療等を推進するための適切なルール整備 等

### 三位一体で推進

#### 医師・医療従事者の働き方改革の推進

- ①医師の労働時間管理の徹底
- ②医療機関内のマネジメント改革(管理者・医師の意識改革、業務の移管や共同化(タスク・シフティングやタスク・シェアリング)、ICT等の技術を活用した効率化 等)
- ③**医師偏在対策**による地域における医療従事者等の確保(地域偏在と診療科偏在の是正)
- ④地域医療提供体制における機能分化・連携、集約化・重点化の推進(これを推進するための医療情報の整理・共有化を含む)⇒**地域医療構想の実現**

#### 実効性のある医師偏在対策の着実な推進

- ①地域医療構想や2040年の医療提供体制の展望と整合した**医師偏在対策**の施行
  - ・医師偏在指標に基づく医師確保計画の策定と必要な施策の推進
  - ・将来の医療ニーズに応じた地域枠の設定・拡充
  - ・地域ごとに異なる人口構成の変化等に対応した将来の診療科別必要医師数を 都道府県ごとに算出
- ②総合的な診療能力を有する医師の確保等のプライマリ・ケアへの対応

## 千葉県と千葉大学病院の覚書 より

### (目的)

第2条 本寄附研究部門は、2025年以降の地域医療ニーズを踏まえて、**医師確保対策と地域医療構想の達成**に向けた取組を一体的に進めていくに当たり

- ・必要となる**データの分析**を行うとともに、
  - ・大学及び地域の医療機関並びに県の3者が、**地域医療の在り方を共通認識**し、
  - ・医師確保を含む**地域医療の維持確保を進める体制**を構築していくための取組検討を行うこと
- を目的とする。

### (研究)

第3条 前条の目的を達成するため附属病院は、

- ・**地域の病院の現状及び課題の分析**を進めるとともに、
- ・「効果的・効率的な医療提供体制」及び「特に郡部における生活圏域単位に必要な病院機能の確保」という2つの視点から、**地域の医療提供体制(病院)のあるべき姿**、それを実現するために**必要な医師や看護職員、病床・診療科の配置**などの研究を行う。

## 地域の医療提供に関連した研究を実施

2019年8月1日に開設



持続可能な医療  
質の高い医療を目指して。



次世代医療構想センター  
Center for Next Generation of  
Community Health  
のご案内

次世代医療構想センター  
Center for Next Generation of Community Health

メンバー



吉村 健佑  
センター長 / 特任教授  
YOSHIMURA KENSUKE

千葉県で起きている医師の地域偏在・診療科偏在などの問題は、日本全体の問題であり、医療従事者一人ひとりの働き方・生き方の問題、そしてその地域に住んでいる人々の問題でもあります。これを根本的に解決するために今回、大学病院、地域の医療機関、千葉県の3者を中心となって研究活動を行い、安定した地域の医療提供体制の確立を目指してまいりますので、ご支援・ご協力を何卒よろしくお願ひ申し上げます。



佐藤 大介  
特任准教授・データサイエンティスト  
SATO DAISUKE

次世代に向けたビジョンについて議論し意気形成を進める上で、実データに基づく分析は必要不可欠です。  
政策情報分析部門は、千葉県や県内市町村に係るデータや情報の分析基盤を整え、千葉県の医療資源、医療提供体制、人材育成に関する分析を行う政策研究を実施し、成果を地域に発信することで千葉県の医療に貢献してまいります。



成瀬 浩史  
特任助教・広報戦略  
NARUSE HIROSHI

千葉県が抱えている医療の問題は、行政機関単体での解決には限界があり、医療を提供する側だけでなく、医療の恩恵を享受する側も協力して、解決に向けて取り組まなければなりません。私たちは、大学病院、医師会、医療機関、千葉県、地域に住む人々などのステークホルダーの間に立ち、地域に安心・安全な医療を次世代に残す仕組みづくりに貢献すべく、邁進してまいります。



岡田 玲緒奈  
特任助教・小児科医  
OKADA RINKO

千葉県は東京の隣県であり人口が多いことに加え、大きな半島であるという地理的な特性等々により、医療の地域偏在の問題が大きいと医師になった頃から感じていました。質の高い医療を長期的に継続して患者さんに提供するために医療者の働き方を見直す時代がいつに始まるかとしています。未来の千葉県の医療、ひいては日本の医療全体に有用な提言をできるよう、小児科医ならではの視点で貢献したいと思っております。



高橋 希  
特任助教・救急医  
TAKAHASHI NOZOMI

救急医療は、すべての医療の入り口となり、根幹となる領域です。通常の外来と違い、24時間365日、どの地域においても等しく質の高い医療の提供が求められますが、現段階で十分に達成している地域は日本にはありません。千葉県がまずそのモデルとなるよう、地域と連携し次世代の救急医療を実現する手助けができればと思います。



埴 真輔  
特任助教・産婦人科医  
TANIUCHI MAKOTO

産婦人科という領域は周産期を通じて未来につながる医療であり、婦人科を通じて女性の一生を支えていく医療です。いずれも社会を支える大事な医療です。世界でトップレベルといわれる日本の産婦人科医療を次の世代に継承するためにお力になれるよう頑張ります。

千葉県内の小児科・産科・救急科と連携



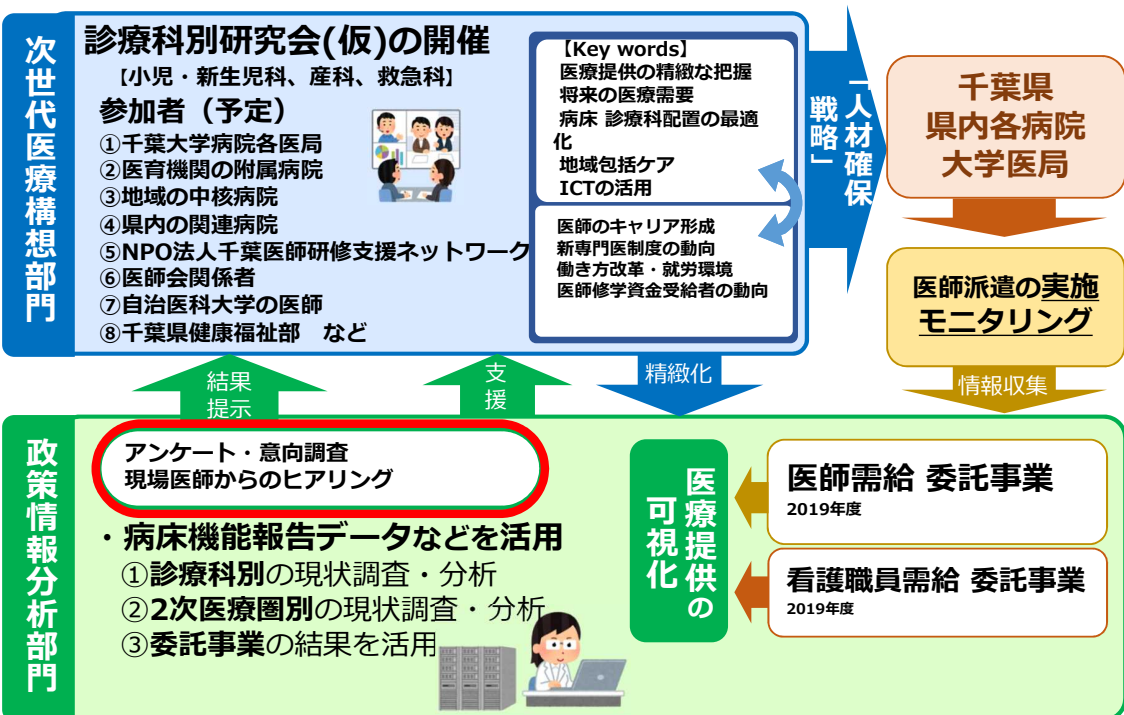
千葉大学病院  
CHIBA UNIVERSITY HOSPITAL



次世代医療構想センター  
Center for Next Generation of Community Health

千葉大学医学部附属病院

次世代医療構想センター 研究計画の全体像



## 次世代医療構想部門

### 政策情報分析部門

千葉県医療政策情報の収集・管理  
千葉県医療提供体制の分析・可視化

#### Key words

医療提供の精緻な把握  
将来の医療需要  
病床 診療科配置の最適化  
地域包括ケア

医師のキャリア形成  
新専門医制度の動向  
働き方改革・就労環境  
医師修学資金受給者の動向  
自治医大生の動向

情報収集・管理

病床機能報告データ（県個票）  
医師・歯科医師・薬剤師調査  
医療施設調査  
DPCデータ/介護データ  
千葉県統計調査票データ  
人口動態調査、人口推計



分析・可視化

医師特性の**定量分析**  
（どのような医師がどの程度分布しているか）  
医療資源量の**将来予測モデル**  
医療資源・提供状況の**可視化**

### 委託事業

2020年度以降、政策情報分析部門による  
継続可能な調査体制へ

- ① 評価指標の作成とデータ収集項目の確定
- ② 継続可能な運用のための作業手順書作成
- ③ 既存資料では把握できない新規データ例）医師特性情報かつ所属機関特性情報アンケート（意向調査）  
若手医師・専攻医等からのヒアリング

情報の収集

医師需給 委託事業：2019年度

- ・国からの医師偏在指標活用
- ・2次医療圏別データ整理
- ・医師確保計画の策定

看護職員需給 委託事業：2019年度

- ・国からの推計ツール活用
- ・2次医療圏(市町村)別データ整理

## 千葉県寄附講座 千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター：活動・研究計画の概要

初年度：2019年8月-

- 1：医療政策セミナー開催：全6回（実施済）
- 2：ヒアリングマラソン（実施中）
- 3：地域の医療提供データベースの構築（実施中）
- 4：各診療科と連携した情報発信・リクルート（実施中）

千葉地域医療  
フォーラム開催

2年目：2020年4月-

- 1：医療政策セミナーの開催
- 2：ヒアリングマラソン完了・地域の医療提供データベースの完成
- 3：「診療科別研究会（仮）」の開催・意見交換
- 4：人材確保戦略に基づく人材配置 など

千葉地域医療  
フォーラム開催

最終年度：2021年4月-

- 1：医療政策セミナーの開催
- 2：「診療科別研究会（仮）」の開催・政策提言
- 3：人材確保戦略に基づく人材配置
- 4：総括と2040年に向けた提言 など

千葉地域医療  
フォーラム開催

## 「三位一体改革」と医療現場への影響（吉村まとめ）

	①医師の偏在対策	②地域医療構想	③医師の働き方改革
総合病院	専門医研修病院・ 医師少ない地域 ⇒医師数増加  研修病院でない・ 医師多い地域 ⇒医師数増加なし	病院のデータ開示 病院役割の見直し 救急医療 診療科連携の重視	医師を確保する 人件費の高騰 バイト医確保困難 労働時間の管理 タスクシフト
クリニック	新規開業の制約	連携先の病院の 見直し？	バイト医確保困難
勤務医 (個人)	専門医資格の重要性あ がる 新規開業に制約	「割の良い」勤務先 の減少 業務の密度上がる	労働時間の短縮と収 入減

現場への影響を考えながら、施策を進める

9



# 第1回 千葉医療構想フォーラム

## 2020.3.7 Sat.

時間：本会 14:00～17:00 ※参加費無料  
 懇親会 17:00～19:00 ※参加費4,000円  
 場所：京成ホテルミラマーレ  
 6階 ローズルーム



基調講演	松本晴樹 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 課長補佐
活動報告	【イントロダクション】 吉村健佑 次世代医療構想センター長 【政策情報分析部門の活動報告】 佐藤大介 次世代医療構想センター 副センター長 【看護職員需給調査検討事業の報告】 島井健一郎 病院長企画室 特任講師 【医師需給調査検討事業の報告】 竹内公一 地域医療連携部長 【小児・周産期、救急医療の課題】 埴真輔 次世代医療構想センター 特任助教（産婦人科） 岡田玲緒奈 次世代医療構想センター 特任助教（小児科） 高橋希 次世代医療構想センター 特任助教（救急科）

## 千葉大学病院に「次世代医療構想センター」 が開設されました

- ①データの収集と、医療現場からのヒアリングを通じ、千葉県の地域医療の実態把握と課題を「見える化」します
- ②産科・小児科・救急科の領域から、意見交換の場づくりを行います
- ③医療現場の実態に即した施策を提案し、課題の解決を目指します

千葉県・千葉大学病院・地域の医療機関の連携を推進します  
皆様のご意見、現場での状況につきまして、情報をお寄せください